

「1億5千万円の損害賠償請求を勧告せよ」

十二人の怒れる市民が監査請求

先週号で準備状況をお知らせしましたが、9日、ガス水道局の本支管工事をめぐり談合疑惑に関し、日本共産議員団の3人の議員はじめ総勢12人の市民が、市監査委員に向けて、住民監査請求を行いました。

請求の主旨は、「入札参加業者が談合を行い、各工事でそれぞれ予定価格の3%相当の損害を上越市に与えたので、市長は落札業者損害賠償請求をするよう勧告することを求める」というものです。

請求書の提出にあたっては、談合事件に専門的に取り組んでいる齋藤裕弁護士と同僚の加賀谷達郎弁護士（新潟合同法律事務所）を代理人として委任し、専門家の立場での書類作成などをお願いしてきました。

この日の提出は市監査委員室で行われ、請求人代表を代理して佐藤忠治氏が監査委員会事務局長に請求書を手渡ししました。

受け取った五十嵐事務局長は、「請求者が投資に在住する市民であることなどを形式的に審査して受け付けが完了する。受け付けたら、その旨を知らせる」と述べました。請求書には、勇気を持って

談合の実態を告発した事業者による談合の記録（日時、場所、工事名、受注調整の内容など）や、その事業者が談合参加者との会合で「もうやめよう」と訴えた際の録音テープ、告発後の落札率のグラフ（告発後は、告発した業者が入札に参加すると、他の業者が低い金額で入札して、告発業者が落札できないようになったことが疑われるが、そのことがわかるグラフ）などが添付されており、明らかに談合が行われたことがわかるようになっていきます。

請求を受け取った監査委員事務局によると、監査委員にこの請求の主旨を述べ、補足説明を行う場として、陳述の機会が設定されるとのことです。この陳述は公開で行われますが、日時は後日通知されるとのことです。追ってご案内いたします。

請求の提出にあたり、請求代理人の齋藤裕弁護士は、「今回は、証拠がはっきりしている部分だけを抽出して請求した。それだけでもこれだけの金額になっている。2つ

の事業者が勇気を持って告発してくれたおかげで監査請求できたわけだが、これは氷山の一角であろう。こうした氷山の一隅を適切に処理していかないと、海の中に沈んでいく談合を止めさせることはできないと思う。せっかくの機会を監査委員会で生かして、談合撲滅のためにきちんと動いてほしい」と述べました。

請求書提出の後、全員で記者会見に臨み、橋爪議員団長が、「談合疑惑発覚から1年以上が経過したが、いまだに市民の目には全容が明らかになっていない。そこで、昨年末から齋藤裕弁護士などと相談して準備を進めてきた。また、談合問題では、『時効』で不正行為が免責されるというおそれもあることから、この時期の提出となった。仮に満足のいく監査結果が出されない場合は、その後の住民訴訟も視野に入れて取り組んでいく考えである。全容が解明されるまで、とことん追求していきたい」と、この間の経緯や提出への思いを語りまし

た。



金沢までの1時間4分を試乗 北陸新幹線開業前試乗会に平良木議員が参加

3月14日に開業を控えた北陸新幹線の長野金沢間で、2月7日試乗会が行われました。

参加した平良木議員によると、「上越妙高駅から金沢駅までは1時間4分。座席は足をしっかり伸ばせるほど前後がゆったりしていて、揺れもほとんどなく快適で、あっという間に金沢に到着しました。線路が高架なので、魚津市付近から富山市付近までは右手に富山湾や能登半島がくっきりと見えたり、左手に立山の雄大な姿も眺めることができたりして、景色も楽しめま

す。ただ、新潟県内はほとんどトンネルの中なので、外が見えず残念でした」と語りました。

金沢駅では、北陸3県を上げての熱烈的な歓迎ぶりでも、新幹線開業に寄せる思いの強さを感じられました。



金沢駅では、北陸各地の観光大使たちがお出迎え

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 442 2015年2月15日

連絡先
 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)



金沢駅ホームにて

日本共産党
**総選挙勝利報告と
 県議選必勝のつどい**
 午後4:00～5:30
 2月22日(日) ユートピアくびき希望館



上越市議員

はしづめ 法一



衆議院議員

藤野 やすふみ

みなさんお誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

入場無料